

Q 一般質問 A

議員は、市長などに対して、市の事務の状況や将来の方針などを質問することができます。この質問を「一般質問」といいます。今定例会では、19人の議員が一般質問を行いました。

住宅密集地での火災対策を

吉田 宏 議員

問 新潟県糸魚川市において大規模火災が発生した。当市においても住宅密集地や狭い道路の地域がある。対策は考えているのか。

答 消防本部総務課長 地域を調査し、消防車両の進入方法、ホースの延長方法など活動計画を以前から作成している。この再調査を実施。また、近隣の消防本部や自治体と相互応援協定を結んでいる。

問 28年度導入した最新のはしご車も住宅密集地で活用できないか。

消防長 先端が屈折する機能を有しているため、離れた位置から障害物を越えて放水できるので、活用を検討。

問 1月に日本損害保険協会から軽消防自動車も寄贈



軽自動車の消防車にはポンプも備わっている

された。活用方法は。

消防本部総務課長 平時は女性消防団員の活動に、火災時は狭い道路から進入して使用したり、四輪駆動車でもあるため、ぬかるみや雪道での機動性を発揮できる。

問 火災の心配が高い時期の注意喚起活動は。

答 消防団と協力し、消防車による巡回広報を実施。

歩行者の安全求める藤代駅北口

佐藤 隆治 議員

問 藤代駅北口整備の進行状況は。

都市整備部長 駅舎の自由通路と交通広場を結ぶ連絡階段を整備していく。29年度に予算が確保できれば着工していきたい。

問 国道6号から藤代郵便局の前を通って藤代駅北口に通じる道路は、車、自転車、歩行者で混雑し、危険。市民活動支援センターも移転する予定であり、この土地も有効活用して、歩道を拡幅するなど、改善を求め

都市整備部次長 歩行者の安全確保のため、車道と歩行者の通行帯を明確にしつつ、市民活動支援センター跡地等の利用も含め検討したい。

また、交通広場の整備に



スムーズな相互通行が困難な藤代駅北口付近の道路

歯磨きの大切さ意識高める施策を

齋藤 久代 議員

問 成人歯科検診の取り組み状況は。

健康増進部長 80歳でも20本の歯を残す8020運動が提唱され、当市では40歳から70歳までの10歳刻みで歯周疾患検診を開始した。

問 子どもへのブラッシング指導の強化を。



歯科検診の様子

についても北口を一体的に安全で快適に利用できる空間づくりを実現できるように検討を進めたい。

【その他の質問】 定住化促進、市民の健康づくり施策

問 ブラッシングを明るく、楽しくできるような市オリジナルの曲やダンスを映像化して啓発したらどうか。

健康増進部長 今後、考えていきたい。

新たな財源に！ネーミングライツ

染谷 和博 議員

問 愛知県名古屋市では、広告収入による新たな財源確保と民間活力の活用を目的として、公共施設への提案型のネーミングライツ（命名権）を導入している。市と協力関係を組むことで社会的信用度の向上、イメージアップ、社会貢献などスポンサーにもメリットがある。当市でも導入を。

政策推進部長 非常に税収が厳しい中、新たな財源探しをしている。非常に有効なものと考えているが、毎回、事業者が変わって施設名が変わってしまうと愛称への親しみへの課題もある。また、茨城県において同様の事業が始まっているが、提案者はない状況と聞いている。様々な課題を整理しながら検討していきたい。

【その他の質問】 29年度予算、災害時の対応、図書館の充実